

収穫祭で交流深まる

台風接近に開催が心配されましたが、収穫日和となった10月12日、ねぎしフードサービスの社員、市場関係者とその家族を招いたJA多古町園芸部による収穫祭が、二本松にある野菜集出荷場で開催されました。サツマイモと大和芋の収穫体験に300名余りが参加し、大きく色艶の良いイモがたくさん採れたことに皆さん大満足の様子でした。昼食にはバーベキューや新米のおにぎり、ねぎしの牛タンとろろ飯などが振る舞われ、生産者と販売関係者との交流がまた一段と深まった一日になりました。



ホールインワンを狙え！ グランドゴルフ大会

秋晴れとなった10月17日、老人クラブ連合会による軽スポーツ大会が西古内グラウンドで開催され、約150名による熱い戦いが繰り広げられました。この大会では、最長で50mのコースやこぶを越えるものなど20コースが設けられ、重いクラブを軽々と操りホールポスト目掛けてボールを打つ姿はとて65歳以上の年齢には見えません。

会場からは、次々とコースを回りながら「あら曲がっちゃった〜」「入った！」など楽しそうな声が上がっていました。



※写真右から
優勝 飯田 修平さん(南並木)
準優勝 高萩 ウメさん(台作)
3位 越川 光雄さん(十余三)



いつまでもお元気で

各地区で行われている敬老会。10月28日に開かれた第二小学校地区の敬老会にお邪魔しました。小学校の体育館には約100名のおじいちゃん、おばあちゃんたちが集まり、結婚50周年をめでたく迎えられた7組のご夫婦にお祝いの品が贈られました。

その後は、第二小学校の全校児童たちによる合唱や、4・5・6年生による力強く迫力の和太鼓演奏が披露されました。そして、おじいちゃん・おばあちゃんたちと児童たちが「じゃんけんゲーム」を通して触れ合い、会場は笑顔であふれていました。



町の出来事や頑張っている皆さんを紹介するアラカルトコーナー。
このコーナーでは、皆さんからの情報をお待ちしています。
〒289-2292
多古町役場総務課広報係 ☎76-2611



町の立地を生かして 海外演奏家との より深い交流を

10月16日、NPO法人(通称)多古ミュージックサロンが主催するコンサートがコミュニティプラザ文化ホールで開かれ、ハープ奏者の彩愛凛さん・パーカッション奏者のクリストファーさん・ピアニストのワシムさんの3名が素晴らしい演奏を聞かせてくれました。

今年は、演奏者とのより身近な交流ができるようにと、民家でのミニコンサートとサツマイモ掘りが常磐地区で企画され、地元の方々など約30名が一緒にお昼ご飯を食べるなどして交流を深めました。また、シリア出身のワシムさんは多古中学校を訪れ、演奏を披露するとともに、2011年から始まった戦争が今も続き、貴重な文化財などが破壊されているだけでなく、多くの方が命を落としているという母国情勢を生徒に伝えました。そして、「これからの世の中を作っていくリーダーとなる君たちは、決して戦争を起こさないような人になってほしい」と最後に締めくくりました。

団体の代表である佐藤圭さんは、今後もこのような活動を広めていきたいと話します。



生徒会との記念撮影



民家でのミニコンサート



サツマイモ掘りを楽しむ彩さん、クリストファーさん、ワシムさん

1日でも早い復興を 願って

あの痛ましい東日本大震災から早くも3年半が経ちました。今なお、避難生活をしている方がいます。住み慣れた我が家に戻ることができない方がいます。いろいろな思いや課題があるなかで、早期の復興が求められているとともに、私たちはこのことを記憶の彼方に埋もれさせてはいけませんし、この大災害から多くのことを学び、今後を生かしていかなければなりません。

「第一小学校PTA」と「火曜会(多古町異業種交流青年会)」では、少しでも被災された方々の力になればという思いから、祇園祭りやコスモス祭りに出店した売上金を被災地へ寄付しました。



11月10日、二本松市にある仮役場にて浪江町総務課長へ寄付金を手渡すPTA役員。浪江町は全域が今も避難指示区域に指定されている



コスモス祭りで寄付を呼びかける火曜会。売上金は福島県災害対策本部へ寄付された